

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		生活支援体制整備事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	2	福祉の健幸		所属部	健康福祉部
	施策	7	高齢者の自立と支援体制の充実		所属課	高齢者支援課
	業務分野	28	高齢者の生活支援の充実		所属班	包括支援センター班 (内線) 1163
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠
	一般	3	1	4	11831	合志市生活支援体制整備事業実施要綱
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 6年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 6 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援等サービスの体制整備にあたっては、市が中心となって、元気な高齢者をはじめ、住民が担い手として参加する住民主体の活動や、NPO、社会福祉法人、社会福祉協議会、地縁組織、協働組合、民間企業、シルバー人材センターなどの多様な主体による多様なサービスの提供体制を構築し、高齢者を支える地域の支え合いの体制づくりを推進する。 地域ケア会議を開催し、地域課題を抽出し、必要な生活支援等のサービスの体制整備を行う。 第1層・第2層生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を配置し、「協議体」を開催することで、互助を基本とした生活支援等サービスを創出していくよう取り組む。また、支援を必要としている地域の高齢者等の生活支援を担う人材(訪問Aの元気応援サポーターなど)を育成し、ネットワークを構築し、地域福祉の向上及び住民同士のつながりの再構築を目的に、生活・介護サポーター養成講座を開催する。 令和6年度から重層的支援体制整備事業の開始に伴い、特別会計より一般会計へ移行となる。
【業務の流れ】	第1層・第2層生活支援コーディネーターの選出(市社会福祉協議会・NPO法人へ委託)、生活支援協議体の組織を運営し会議の開催、高齢者の通いの場等の地域資源の掘り起こし、地域高齢者のニーズ把握、ニーズとサービスのマッチングを行う。 地域ケア会議を開催し、地域課題を抽出する。
【主な予算費目】	職員手当等・報償費・役務費・委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

第1層生活支援協議体を4回開催した。
地域げんきフォーラムを1/9に開催した。(参加者105人)
生活・介護支援サポーター養成講座を全7回開催し(参加者延べ:88人)、元気応援サポーターに4人が登録を行った。
地域ケア会議を30回開催し、42事例の検討を行った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

第1層生活支援協議体を4回、第2層生活支援協議体を4回開催予定。第1層、第2層生活支援コーディネーターを配置し、地域(生活)課題の把握・調査を行い、更なる地域資源の掘り起こしや通いの場の益々の充実を図る。

③予算の主な増減の理由

生活支援体制整備事業(第1層、第2層生活支援コーディネーター)委託の人員費が増額となったための委託料の増

成果指標

ア 協議体で検討した項目数
イ 元気応援サポーターの登録数
ウ

(単位)

データ取得方法

項目
人

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	6年度		6年度		7年度		8年度		9年度		10年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	見込			
ア 項目				3	1	3	3	3	3	3	3	3	3
イ 人				5	4	5	5	5	5	5	5	5	5
事業費	国庫支出金	千円		2,911	2,697	2,962	2,962	2,962	2,962	2,962	2,962	2,962	2,962
	都道府県支出金	千円		1,455	1,348	1,481	1,481	1,481	1,481	1,481	1,481	1,481	1,481
	地方債	千円											
	その他	千円											
	繰入金	千円			1,739		1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770	1,770
	一般財源	千円			1,457	3,047	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483	1,483
(A) 事業費計	千円			7,562	7,092	7,696	7,696	7,696	7,696	7,696	7,696	7,696	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

生活支援協議体において、地域見守り応援隊の具体的な活動を検討することができ、要綱の制定、実践マニュアルの作成、応援隊のシンボルマークを作成することができた。
生活支援コーディネーターが地域のサロン等を訪問することで、地域資源や地域課題を発見し、地域の支え合いの体制を構築していく。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)